

業務改善の実施状況報告

組織名	九州漁業調整事務所	連絡先	092-273-2000
所管する業務の概要	外国漁船及び我が国漁船の指導取締、漁業調整、広域的な資源回復計画の企画立案		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>接遇研修の実施により、接遇マニュアルを実践し、相手に好感をもたれるよう、丁寧な対応を心がけている。</p> <p>施策に関する国民からの問い合わせにも対応できるよう、水産業以外の施策についても情報収集及び内容の理解に努めている。</p>	<p>相手の立場に立った接遇を心がけ、問い合わせ等に的確に対応できるよう省全体の施策の把握と内容の理解に努める。</p>

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>予算の執行にあたっては、透明性・公平性を確保し、その適正な執行と節減に努めている。</p> <p>国民からの意見・苦情については、関係部署等の連絡・調整を密にし、的確かつ誠実に対応するよう努めている。</p>	<p>予算の執行に当たっては、複数の者による検証等により、透明性・公平性の更なる向上と経費の節減に努める。</p> <p>意見・苦情等の情報等が寄せられた場合には、担当者だけにとどめることなく、所内で情報を共有し、所内で解決できない問題については本庁等の関係部署との連携を密にするなどして、適切に対処できるよう努める。</p>
外国漁船を含めた漁船の取締りの実効性の確保、取締り情	取締り機関としての更なる意識向上を図るため、取締りの実効性

<p>報の管理徹底に努めている。</p>	<p>の確保、取締り情報の管理・徹底等の強化に努める。</p>
<p>漁場や魚種が競合する漁業者同士等の関係者の話し合いを定期的に行うこと等により、漁業紛争の防止等、漁場の円滑な利用が図られるように努めるとともに、業務に必要な情報収集を図っている。</p>	<p>漁業現場の実態に沿った漁業調整業務の遂行や的確な業務遂行のため、出来る限り現場へ出向き、漁業者等の声を直接聞く機会を設けるよう努める。</p>

<p>3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて</p>	
<p>・これまでの取組実績及び現在実施している取組</p>	<p>・今後の課題とその改善策</p>
<p>定期的に会議を開催し、各課が行っている業務の連絡・調整を行い、所内の意思疎通の強化に努めている。</p>	<p>業務の連絡・調整を徹底し、所内での意思疎通の更なる強化に努める。</p>

<p>4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について</p>	
<p>・これまでの取組実績及び現在実施している取組</p>	<p>・今後の課題とその改善策</p>